

令和5年度 自己評価・施設関係者評価結果

本園における自己評価の結果について、下記のとおり公表いたします。この評価結果を踏まえ、今後もより良い教育・保育が提供できるよう努めて参ります。

〈令和6年5月31日 幼保連携型 夕陽ヶ丘認定こども園〉

1. 開催日時 令和6年5月20日（月）17：50～19：00
2. 開催場所 夕陽ヶ丘認定こども園 ちゅうりっぷ組保育室
3. 評価委員 委員長 吉田憲章（夕陽ヶ丘町内会会長）
副委員長 森 之南（夕陽ヶ丘こども園友の会会長）
委員 河合健哉（社会福祉法人北見福祉会評議員）
4. 園説明者 園長 松田祐介、副園長 三田サカエ、指導保育教諭 橋本真由美
5. 評価の方法について
○本園の職員一人ひとりが、A：大変良い（4点） B：良い（3点） C：一部検討が必要（2点）
D：改善が必要（1点）により、自己評価を行いました。
○その後、全職員分を集計した平均値が「1.5以下をD」、「1.5～2.4をC」、「2.5～3.4をB」、「3.5以上をA」とし、本園としての自己評価として記入しています。
6. 教育・保育目標について
*体を十分動かし、友達と仲よく遊べる子ども
*自分で考え、のびのび行動のできる子ども
*正しい基本的生活習慣を身につけ、元気に遊べる子ども



評価項目		評価	評価コメント（取組状況）
理念等	「理念」や「教育・保育目標」が明文化され、周知が図られている。	B	○園の「教育・保育目標」は明文化され、周知されてきているが、より一層意識化されるよう、周知の仕方を工夫していく。
経営状況	経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	A	○法人・こども園運営を含めて、北見福祉会として中期事業計画を策定して取り進めている。 ○事業計画は毎年、成果と課題を理事会等で協議している。R6年度も課題を明確にし、具体的な取組を進めていく。
	本年度、もしくは中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	A	
指導目標	指導計画について、毎年及び毎月ごとに反省・検討し、子ども達の育ちを第一に考え、教育・保育に活かしている。	B	○毎月の職員会議等での協議を基に指導計画を作成している。また、年度末には年間の反省を基に次年度の全体計画を作成しており、それを活用して教育・保育に活かせるよう取り組んでいる。より良い指導計画策定と実践を積み上げ、目標に向かえるよう努力していく。
人権尊重	子ども一人一人に寄り添い、子どもが自分の思いを伝えることができるように配慮している。	A	○子どもの人権を尊重した、子どもに寄り添った教育・保育を進めている。 ○研修会や職員会議等を活用して、人格を無視するような言動がないように、園全体で取組を進めていく。
	子どもの心を傷つけたり、人格を無視するような言動をしないよう、十分配慮している。	A	
園行事	指導計画をもとに行事のねらいを定め、それが達成できるように実践している。	B	○「新型コロナ」が5類になったが、行事を縮小したり参観者の人数制限をとることもあった。R6年度においては状況を見極めながら、各種行事のねらいの達成に向けた取組を進めていく。
発達援助	子ども一人一人の理解を深め、受容しようと努めている。	A	○子ども達の家庭状況や個性を理解し、更に個々の気持ちを受け止めて教育・保育を進められるよう、職員会議等で話し合っている。その結果と受け止めている。 ○送迎時の保護者との情報交換も毎日意識的に実践してい
	子どもの言葉（幼児は行動や表情）によく耳を傾け、丁寧に対応している。	A	

	基本的な生活習慣については、家庭と連携しながら（朝夕のお話や連絡帳等も含め）、子どもの状況に応じて対応している。	B	る。保護者のニーズに応えながら、子どもの発達援助を考慮した教育・保育を展開できるよう、理解や連携の仕方を工夫していく。
	評価項目	評価	評価コメント（取組状況）
教育・保育内容	年齢や子どもの興味に沿った遊びを工夫している。	B	○研修会や職員会議等を通して、質の高い教育・保育を展開できるよう工夫している。保育教諭等職員は更なる質の向上を目指しており、現状に満足していないという結果と考える。取組を進めていきたい。 ○年齢相応のより質の高い教育・保育、子ども達の興味を引き出す教育・保育の実践には、保育教諭等職員一人一人、更にスキルを高める必要がある。各自の取組への姿勢はもちろん、研修等を通して個々の実践力の向上を促すとともに、保育教諭相互の共通理解を図っていく。
	身近な自然とかかわる機会を作り、子どもの様々な興味を引き出し、自然の素材を教育・保育に活用している。	B	
	身体を使った様々な遊びを工夫して実践している。	B	
	様々な素材を使って、描いたり、作ったり、自由に表現できるように配慮している。	B	
保育環境	保育室や遊戯室、園庭等、園舎内外の整理整頓を心掛け、危険なものを放置しないなど安全に配慮している。	B	○保育教諭等が日常的に安全点検をするとともに、毎月1回は危険箇所が無い現場調査を行っている。園舎も古くなったが、出来る限りの点検・修理等を進めていく。 ○消毒作業は全職員分担で毎日実施しており、新型コロナ対策を含めた衛生管理は今後も続けていく予定であり、常に清潔で整った保育環境の維持に努めていく。
	保育室やトイレ及び教育・保育用品の衛生管理に留意し、定期的に消毒している。	B	
食育等	楽しくゆったりと食事ができるように、また、個人差に応じた食事介助・指導に努めている。	A	○発達段階や個人差、アレルギー等に応じて、楽しく食事ができるよう意識的な介助に努めており、子ども達も食事を楽しんでいる。 ○狭い菜園が難点ではあるが、収穫した野菜を子ども達が食べられるように工夫して取り組んでいる。 ○給食調理員と保育教諭とが相談して、園行事に合ったメニューを提供できるよう努めている。行事とメニューの関係を子ども達が知り、喜んで食べている様子も覗える。
	給食や収穫物の調理等を通して、食材への関心や食べる意欲を育てている。	B	
	各行事に合わせたメニューを工夫して提供している。	A	
障がい保育	保護者の理解のもと、関係機関や医療機関と連携を図り、指導・援助を受けている。	B	○支援が必要と見込まれる子ども達には、保護者の理解のもと市子ども総合支援センターと繋がり、助言を受けることもある。保育課等他機関とも繋がりをもっている。 ○研修会等を通して、支援が必要な子ども達への指導のあり方を学び、園として共通理解のもと教育・保育を進めるよう努めていく。
	個々の障がいを理解して、教育・保育にあたっている。	B	
健康と安全	避難訓練や交通安全指導については、年間計画に基づいて実施している。	A	○避難訓練は年間計画に基づき毎月実施している。（消防参加も年2回実施）交通安全推進員による交通安全教室を行った上で、お散歩の際に子ども達と安全な歩き方や交通ルールについて確認している。今後も継続する。 ○子どもの体調変化には職員による検温を含め、体調不良や微熱等の症状を素早く察知し、適切に対応するよう努めている。 ○食事での事故防止については、日常的に注意・指導を行っており、マニュアルにそった介助に努めている。
	子どもの健康状態を把握し、体調の変化に速やかに気付くように配慮している。	A	
	食事中やお昼寝中の事故防止のため、マニュアルを基本に介助・観察を行っている。	A	
保護者支援	朝夕の送迎時及びクラスだよりや連絡帳・掲示板等を活用し、子どもの様子を伝え合うように努めている。	A	○保護者支援は、園の重要な役割の一つであり、送迎時の情報交換を含め、意識して取り組んでいる。保護者の悩み・苦しみに傾聴し支援できるよう、今後も研修会などを通して保育教諭個々のスキルアップを図っていく。 ○参観日や懇談会も復活した。保護者の悩み・苦しみに傾聴し支援できるよう、今後もそういった機会を作っていきたい。研修会などを通してスキルアップを図りたい。
	参観日や懇談会等を通し、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	B	
地域連携	地域の人々との様々な交流（学校や施設を含む）の機会確保につとめている。	B	○コロナ対応により地域との交流が減少していたが、少しずつ復活してきている。近隣の小学校等との連携を含め、一層の交流活動を進めていきたい。 ○子ども総合支援センターや保育課等の関係機関とは、更に連携を密にしていきたい。
	必要に応じ、専門機関や関係機関との連携を図っている。	B	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">全体を通して</p>	<p>○こども園としての自己評価は「Bの上」となった。(全項目の総点数を項目数で除した点数が「A」には達していない。)</p> <p>○全体的に法人や園としての取組、及び職員の努力により一定程度の結果となっているが、より組織体として向上心をもって園の運営を進めていかなければならないと考える。</p> <p>○コロナの影響は減少したが、他の感染症も含め、油断はできない。令和5年度は、コロナだけではなくインフルエンザ等が園で流行った。今後も、子ども達の安全を守るために、緊張感をもって園運営を進めたい。</p> <p>○教育・保育の分野では、4項目とも「B」判定となった。職員一同、一層のレベルアップを図ろうと考えている。マイナスとはとらえず、前向きに考えていきたい。研修会の実施や保育教諭同士の共通理解を図りながら、より質の高い教育・保育が実践できるよう、創意工夫していく。</p> <p>○園の経営・運営は、法人の中期事業計画に基づき、全般的に着実に目標に向かっていっていると感じている。また、近年中に園舎改築事業なども予定されており、さらに安定した施設経営・運営に努めていきたい。</p>
---	---

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価委員からの意見等</p>	<p>○朝夕の園児の送迎時について、道路の横断時には親がなるべくお子さんの手を離さないように促していただきたい。</p> <p>○職員の皆さんがどれだけ苦労されているかがわかる評価結果だと思う。その中で教育保育の分野で「B」という結果になったのは、職員が「これでいい」とは思っていないことの表れで、厳しいが次につながる自己評価だと思う。</p> <p>○(施設見学で見せてもらった)園児の作品を見ただけでも、色々と考えて教育保育を行っているのかが伝わってくる。</p> <p>○近年幼稚園やこども園からの発達検査の要請が増えており、小中学校でも支援学校や特別支援学級への通級者が非常に増えている。こども園と小学校との連携はこれから益々重要になってくる。</p> <p>○虐待が疑われる事例について、保護者支援を行いながら対応しているのはすごいと思う。</p> <p>○コロナの間に出来なかった行事が徐々に再開されているが、どうやって密をさけて行っていくか、感染予防のため工夫して教育保育を行っているのが感じられた。</p>
---	---